



ウッドデザイン賞 受賞作品より

特集

これからの 木材利用とデザイン

10月は木づかい月間です。

日本の森林は、戦後に造成されたスギやヒノキなどの人工林を中心に、本格的な利用期を迎えています。林野庁では木材を利用することの意義を広め、国産材利用を拡大していくため、平成17年度から「木づかい運動」を進めています。

今回は、木材を利用していく中で、これから益々重要になる、「木材利用とデザイン」について取り上げたいと思います。

これからの木材利用とデザイン



ららぽーと海老名キッズプレイエリア「ウッドキューブ」
(大建工業株式会社、ウッドデザイン賞 2015)

これからの木材利用を考えると、より多くの皆さんに木を使っていたくためには、これまでも増して、デザイン性が重要になってくることは間違いありません。今回はデザインのプロフェッショナルであり、ウッドデザイン賞の事務局にも参画されている、株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所の代表取締役社長、高橋氏にお話を伺いました。



高橋 義則氏

ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役社長。ウッドデザイン賞運営事務局メンバー、NPOキッズデザイン協議会理事。一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会理事。
ユニバーサルデザイン、ソーシャルデザインをテーマとした製品開発、施設・空間プロデュース、地域戦略策定のほか、各種コンテンツプロデュースを手がける。日本デザイン学会会員。

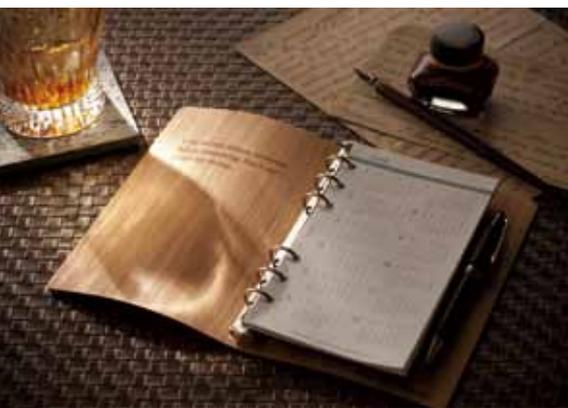
消費者の目から見るデザインとは



林野庁(以下、林)「デザイン」という単語を聞いたときに、すぐに思いつくのは見た目の美しさ、ですが。高橋 確かに、「デザイン」という言葉を聞いたときに、思い浮かぶのは、美しい造形や綺麗な色彩、格好良いグラフィックやロゴかもしれません。

実はデザインという言葉には、目的を持って企画や提案を行うこと、それを具体的な形や意匠にするという意味がもともと含まれています。

デザインはこれからの木材利用の拡大を考える時、重要な役割を担っていると思います。単に木を使っているというだけでなく、それがよい形をしているということだけでもなく、使う人にどんな楽しい暮らし方を提案できるのか、心身に対してどのようなメリットを提供できるか、までを読み込んだモノ・コトづくりこそが今求められている「木づかいのデザイン」なのだと考えています。



iLignos システム手帳
(名古屋木材株式会社、ウッドデザイン賞 2016)



日本の木と技が創る超軽量家具
(株式会社 KOMA、ウッドデザイン賞 2016)

「ウッドキューブ」は、公共施設や商業施設において、大掛かりな工事を行うことなく設置できる国産木材・地域木材を活用した木質化空間のユニットです。木材を立方体状に構成し

で使いやすく、座り心地や耐久性も兼ね備えた逸品です。

暮らしのシーンと時代ならではのニーズを先取り

「iLignos システム手帳」はごく薄い木材の表紙を持つシステム手帳です。同社独自の木材圧縮成形技術によって

約1・2mmという薄さを実現。木材でありながら、驚くほど柔軟性があり、開閉の際も無理なく曲がり、持ち歩きやすい軽さも魅力的です。スギの真っ直ぐな木目を活かしたシンプルな意匠ですが、気候や生育時の環境を反映して一冊ごとに異なる年輪は、自分だけ

の手帳という思いを一層強くしてくれます。使うほどに木独特の風合いが増し、未永く使い続けたくなる逸品です。東京の家具工房 KOMA の超軽量家具は椅子がわずか2000g以下、テーブルが3000g以下と超軽量ながら、研ぎ澄まされたデザインと使い勝手を

両立しています。広葉樹と針葉樹の特性を活かしたハイブリッドで、強度が必要なフレーム部は広葉樹の硬度と粘度を活かし細く仕上げ、体が触れる座面や天板は杉の柔らかさが感じられます。日本で育まれた高い木工技術を用い、工夫が凝らされた椅子は子どもから高齢者まで使いやすく、座り心地や耐久性も兼ね備えた逸品です。

木材が秘める新たなデザインの可能性

林 デザインの視点から木材利用を見直してみると何が見えてくるのでしょうか。

高橋 木は古来、私たちに最も身近で、暮らしの中で使われ親しまれてきた素材であることは間違いありません。自然物である木の持つ温かさ、柔らかさ、木目の美しさ、香りなどは、

生きている私たちの暮らしと共鳴し、暮らしに馴染んできました。

しかし現代では、私たちはかつてと全く同じ暮らし方をしているわけではありません。少子高齢化などの社会的背景やオリジナリティを重視する生活、安全や健康に対する関心の高まりなどもあります。モノやコトが持つ意味も変化しており、木材利用の役割もまた変化しているのです。かつての木材利用の方法が私たち

の暮らしに潤いと利便性をもたらしてくれたのと同様に、木材の持つ様々な特性や効能は、これからのライフスタイルの中でもまた新たな価値を提供してくれるのではないのでしょうか。

林 平成27年から始まったウッドデザイン賞には、ああいいな、と思ってもらえるような木材利用に焦点を当てるといいう意味で、多いに期待しているところですが。

高橋 消費者目線での木材利用の先進例を顕彰する「ウッドデザイン賞」では、まさにそうした視点を持ちながら、木材の良さや性能・効能を最大限に活かしたモノ・コトを生み出している作品が多数受賞しています。「暮らしを豊かにする」「感性を豊かにする」「地域や社会を豊かにする」の3つの視点から、優れたデザインを持つ作品が選ばれています。ここではそのいくつかをご紹介します。

た基本構造に床、壁、照明などの部材を組み合わせ、子どもが楽しめる木製ボールのプールや木でつくられた動物や鳥、木琴など子どもが夢中になりそうな遊具が設置されています。子連れでの外出は何かと心配の種が多いものですが、こんな空間があると親も安心して休めますね。

木材の良さを活かし 家族や健康、 地域へ思いを馳せる



「大工と組むわが家再生」は、先人の知恵や愛着が詰まった古民家を、県産材を用いながら、現代に求められる

耐震性や快適性などを加味してリフォームする取り組みです。永く住んだ家の記憶を留めながらも、現代のライフスタイルや機能がある家へと生まれ変わらせます。「たくさんの思い出を残したいが耐震性も確保したい」といった声に応えたり、時間とともに家族構成が変わる家のあり方を、古民家ならではの木造の持つ重厚さと地域材を活用した快適な木質空間の組み合わせで提案しています。

「新柏クリニック」は、人工透析治

療のための病院施設です。患者の滞在時間が長い透析室のような空間には、人間の心身に好影響を及ぼす木が使われることが理想的です。本施設は、木の癒し効果に着目した、森林浴のできるクリニック。屋外の眺望と一体化した、美しい木質空間は患者の心に安らぎを与えてくれます。国産材の利用にこだわりつつ、新しい耐火技術の導入によって都市部にありながら木造・木質化された医療施設を実現し、患者の心身の回復に貢献しています。



新柏クリニック（医療法人社団中郷会 新柏クリニック、ウッドデザイン賞2016）



大工と組むわが家再生
（株式会社新和建設、ウッドデザイン賞2016）



日本橋とやま館（富山県、ウッドデザイン賞2016）

「日本橋とやま館」は、富山県のアンテナショップであり、産地に眠っていた原木、製材品加工品などさまざまな工程段階の木材を現地で選定、調達しデザインしています。巨大な立山連峰をイメージした木格子壁はインパクトがあり、ナラ虫食い材やクリ・ナラなどの異種材の幅はぎ材をテーブル天板に使うなど素材と加工の工夫で空間を引き立たせています。地域の魅力発信と地域材の利活用が高次元に融合した空間で楽しむ富山の食材、お酒は、地域への思いを感じさせてくれます。

平成29年度『木づかい推進月間』に関するイベントスケジュール (10月実施予定のイベントより抜粋)

都道府県	期 間	イベント・取組名	開催地及び会場名	主 催 等	問い合わせ先
北海道	10月10日 ～11日	木の日パネル展	北海道庁1F 特設展示場A (札幌市)	北海道水産林務部林務局 林業木材課	011-204-5492
秋田県	10月21日 ～22日	大館圏域産業祭 「林業展 (展示・PR・体験コーナー)」	ニプロハチゴドーム (大館樹海ドーム)	大館圏域産業祭運営委員会	大館市産業部商工課 (0186-43-7071)
山形県	10月14日 ～15日	山形県林業まつり	天童市 山形県総合運動公園	山形県林業まつり実行委 員会	023-666-4800
福島県	10月22日	生き生き・市場開放デー	白河市公設地方卸売市場	白河市公設地方卸売市場 祭り実行委員会	0248-22-1111
埼玉県	10月15日	森と住まいの木づかい フェスティバル	飯能市役所駐車場	森と住まいの木づかい フェスティバル実行委員 会／西川ねんりんの会	柏屋商事内 (042-973-2351)
富山県	10月7日	とやま木と住まいフェア 2017	富山県農林水産総合技術 センター木材研究所	富山県、富山県木材組合 連合会	076-444-3388
山梨県	10月21日 ～22日	山梨県林業まつり森の フェスティバル	小瀬スポーツ公園	山梨県林業まつり実行委 員会	055-223-1650
愛知県	10月27日 ～30日	ウッドワンダーランド 2017	ポートメッセ名古屋	日本木工機械工業会	052-261-7511
滋賀県	10月14日	山を活かす、山を守る、 山に暮らす交流会 2017	木之本運動広場 (滋賀県長浜市木之本町 西山 350)	滋賀県	滋賀県琵琶湖環境部森林政 策課交流推進係 (077-528-3919)
大阪府	10月22日	水都おおさか森林の市 2017	毛馬桜ノ宮公園・近畿中 国森林管理局	水都おおさか森林の市実 行委員会	050-3160-6753
和歌山県	10月29日	青洲まつり	道の駅 青洲の里 (紀の川市西野山 473)	紀の国 ふるさとづくり協議会	和歌山県那賀振興局林務課 (0736-61-0015)
鳥取県	10月29日	第14回山の祭りと 第39回住宅デー	倉吉未来中心よこ大御堂 廃寺跡	鳥取県中部森林組合・中 部建築工務士会	鳥取県中部森林組合 (0858-22-6622) (c.sinlin@violin.ocn.ne.jp)
香川県	10月7日～ 8日	ウッディフェスティバル	サンメッセ香川	香川県木材需要拡大協議会	087-881-9343
高知県	10月28日 ～29日	第13回木造住宅フェア もくもくランド 2017	高知市中央公園	高知県木材普及推進協会	木材普及推進協会 (088-883-6721)
佐賀県	10月22日	第12回県産材祭り (がばいじゃ～もくまつり)	伊万里市	一般社団法人佐賀県木材 協会 株式会社伊万里木材市場	0952-23-6181 0955-20-2183
大分県	10月14日 ～15日	大分県農林水産祭 (第40回木と暮らしのフェア)	別府公園	大分県 大分合同新聞社	大分県農林水産部林産振興室 (097-506-3833)
鹿児島県	10月21日 ～22日	第18回かごしま木材まつり	かごしま県民 交流センター	かごしま木材まつり実行 委員会 (事務局：(一社) 県木材 協会連合会)	099-260-5356

(中表紙)



ウッドデザイン賞 2016 受賞作品

- ① kids furniture (飛騨産業株式会社)
- ② 森香炉 (正プラス株式会社)
- ③ augmenter (有限会社豊岡クラフト)
- ④ 木はり絵 アートキット (合同会社きわ)



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。

受賞作品をはじめとするウッドデザイン賞に関する各種情報は、[ウッドデザイン賞運営事務局] のホームページ等で、ご覧いただけます。

ウッドデザイン賞 運営事務局



URL: <https://www.wooddesign.jp/>
電話: 03-5733-3128
メール: info2017@wooddesign.jp



ウッドデザイン賞の各種最新情報は、運営事務局の Facebook でも配信されています。
URL: <https://www.facebook.com/wooddesignaward/>